

科学技術政策研究所の執務環境について

平成14年7月25日
総務課 企画課

	郵政事業庁舎 (平成13年7月～)	永田町合同庁舎 (昭和63年7月～平成13年7月)	参考
			経済産業研究所
スタッフ数	常勤スタッフ 72名 (定員53 :平成14年4月より) (平成14年6月現在 :補助員等含む)	常勤スタッフ67名 (定員54 :平成13年度末現在) (平成13年1月現在 :補助員等含む)	常勤スタッフ 約50名 (期初常勤職員51) (非常勤を加えると約90名)
専有面積	1,062.57㎡ (定員一人あたりの面積 20.05㎡)	1,334.25㎡ (定員一人あたりの面積 24.71㎡)	1,578.50㎡ (期初常勤職員一人あたりの面積 30.95㎡)
調査研究スタッフ一人あたりの平均執務スペース (共用部分を除く)	研究グループ (1.2mのパーティションで仕切られたスペース) 総括主任研究官 :12㎡ (ワーカーデスク含む) 主任研究官等 :7.4㎡ 調査研究グループ、動向センター :4.3㎡	研究グループ :15㎡ (1.6mのパーティションで仕切られたスペース) 調査研究グループ、動向センター :5.65㎡	研究員・上席研究員は半個室のスペース (約8.2㎡)。机、パソコン、書棚、衣紋掛けを配備。 非常勤研究員用に同タイプのスペース(約8.2㎡)を12室用意 (増設予定)。 リサーチアソシエイト、ファカルティフェローの一部、学生、外国人フェローは1.4mのパーティションで仕切られた机を貸与。
会議室スペース	・所内打合せにはコピー室を会議室として使用。38.36㎡ (10名程度) ・所議、連絡会議、所内セミナー 講演会、研究会等には文部科学省共用会議室ないし外部会議室を予約して使用	・10数名程度の会議室2室 (49.8㎡×2室)を当所専有スペース内に確保。所議等も当該会議室で実施 ・本省会議室 (99.6㎡)を所内セミナー等に優先使用	・30名程度で利用可能な会議室 2室(73.4㎡×2室) (会議室 2室とラウンジの一部をつなげて約200名対応の会議室としても使用可能) 経済産業省会議室、各省共通会議室の利用は不可
打合せ 交流スペース	・同一スペース内に6人用打合せテーブルと外国人フェロー2人分の机を設置(20㎡) ・その他、動向センター内に8人用打合せスペース(6㎡) 1カ所設置	・各室に1, 2カ所の打合せスペース (テーブル等) を設置	・4-8人用打合せスペースを所内に10ヶ所程度完備。 ・所員の交流スペースとしてラウンジを設置 (36.7㎡のスペースにテーブルセット×3と雑誌類を置いた書棚、最新の新聞、コーヒーメーカーを常置)
その他図書、倉庫等のスペース	・倉庫 74.06㎡ ・コピー室 12㎡ ・サーバー室 32.06㎡	・図書室49.8㎡、閲覧室31.2㎡、資料室53.67㎡ ・倉庫125.35㎡ ・作業室49.79㎡ ・サーバーは情報分析課内に設置	・倉庫 :75.2㎡ (うち約半分を打合せスペースとして改修中) ・書庫 :82.3㎡(別階) ・サーバー室 :45.6㎡
本省との位置関係	同一庁舎 (文部科学省別館内)	車で約5分 (霞ヶ関 科学技術庁まで)	同一庁舎 (経済産業省別館内)
その他特記事項	・庁舎借上費24百万円を予算計上 ・独自の会議室がない (文部科学省の会議室を所管課を通じて予約。希望の会議室を確保できる確率約50%) ・客員研究官等室22.2㎡ (外国人フェローと共用) ・室温調節機能がない (4月に室温30℃を超えるケース有り) ・倉庫が同一階にあるため、利便性がある (スペースが十分でないため有料の外部倉庫も活用) ・独自の資料室 (図書室) のスペースがなく、文部科学省の図書館の一部スペースを借用	・国有財産無償使用 ・独自の会議室を所有 ・顧問室、客員研究官室等を所有 (76.25㎡) ・科学技術庁の図書館を併設。国会図書館が近接していることもあり資料入手が容易	・国有財産無償使用 ・管理部門も (一部を除き) パーティションで仕切られた机。 ・空調設備が庁舎一体のため室温が高いこと、研究者用の半個室スペースも庁舎管理の観点から密閉ではなく、周りの騒音 (管理部門の電話等) が問題。